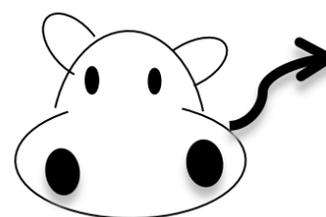


2023年度

# 環境経営レポート

(活動期間 2023年 4月～2024年 3月)

新水マリン株式会社 本社  
発行日：2024年 6月 3日



# 1. 環境方針

## 環境理念

人と環境に配慮しながら業務を遂行し、次の世代に住み良い地球を残すことを目指します。

## 基本方針

- ◇ 環境保全  
法規制の遵守及び代理店業務の適切な遂行で、船舶の不必要なエネルギー消費やCO<sub>2</sub>排出を最小限に抑制し、環境負荷の継続的な低減に努めます。
- ◇ 地域社会への貢献  
環境意識の高い社員を育成し、日常生活から環境影響を考慮するとともに地域の清掃活動や環境保全活動に積極的に参加します。

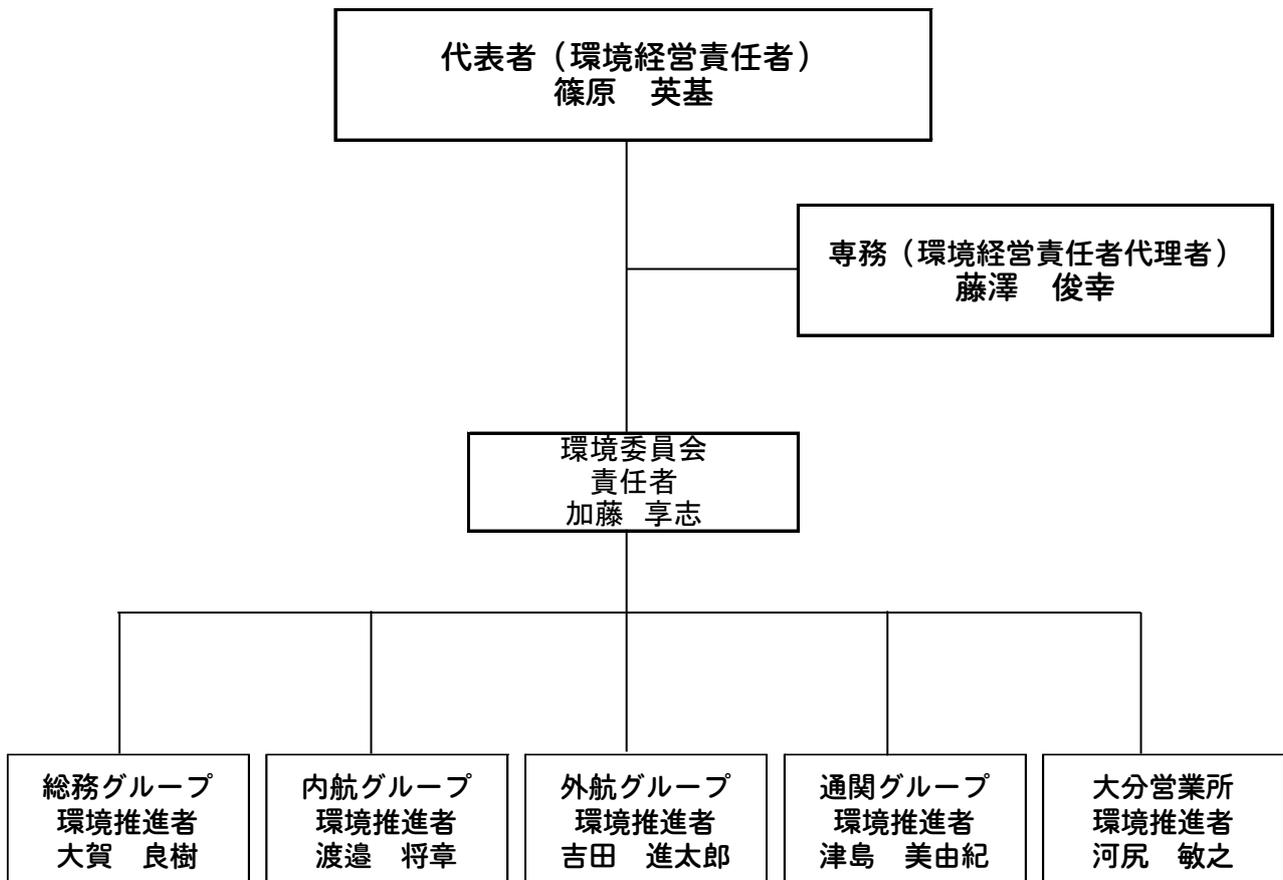
## 行動指針

- ① 守る  
国や地方自治体の環境規制を遵守するとともに、社内規定、手順書に基づく業務遂行を徹底します。
- ② 大切に  
使用するエネルギーの無駄遣いを減らすとともに、資源のリサイクル・再利用に努めます。また、グリーン購入を推進します。
- ③ 改善する  
5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動の推進により職場環境の改善を図ります。
- ④ 勉強する  
環境意識の向上のため、環境委員会等で勉強会を行います。
- ⑤ 参加する  
地域やENEOSの環境保全活動、清掃活動に積極的に参加します。

2024年4月1日 改訂  
新水マリン株式会社  
取締役社長

篠原 英基

## 2. 環境活動の実施体制（2023年度）



\*環境経営責任者・・・環境経営方針の決定及び環境経営計画の決定。

計画の見直しおよび必要な指示。

経営資源（人、もの、資金、情報等）の準備。

環境管理責任者の任命。

\*環境経営責任者・・・環境経営責任者を代行する。  
代理人

\*環境責任者・・・環境経営計画の策定、推進、実行及び活動計画の評価・分析。

\*環境推進者・・・環境活動実施状況の確認、報告及び環境活動の補佐。

\*グループ員・・・環境経営計画の実行、提案。自主的行動。

### 3. 主な環境負荷の実績及び環境目標

・過去4年間の環境負荷の推移  
【環境負荷実績表】

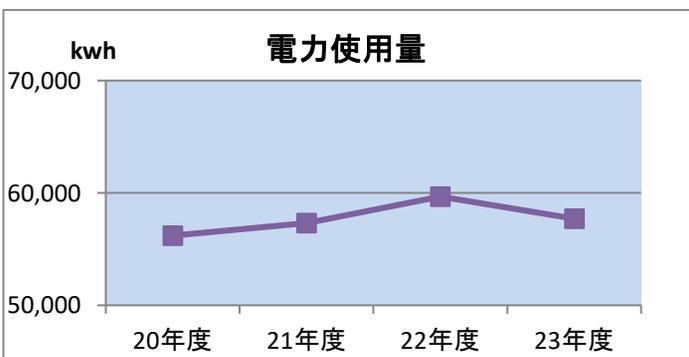
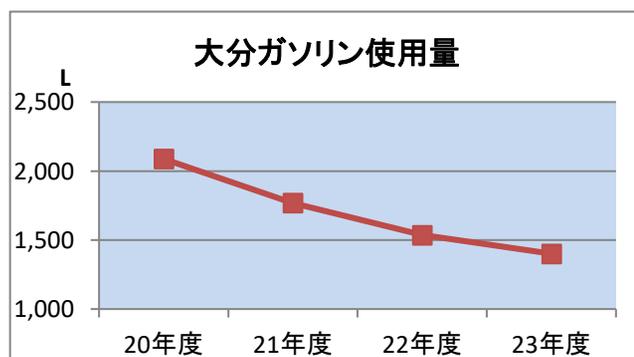
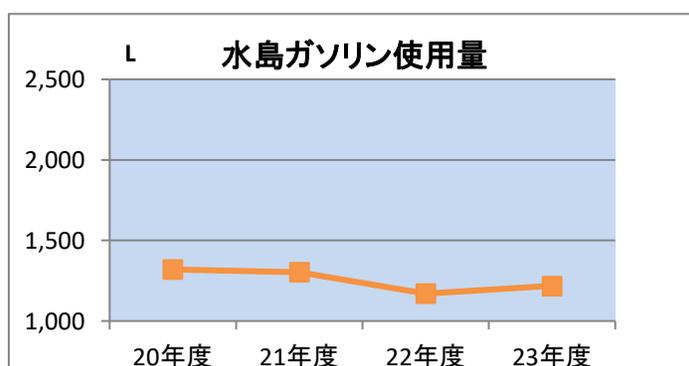
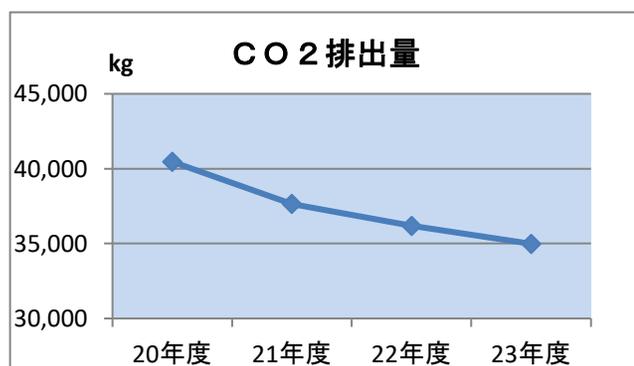
項目	実績値				23年度 評価
	20年度	21年度	22年度	23年度	
①CO <sub>2</sub> 排出量(Kg) (全社)	40,461.33	37,647.18	36,177.33	34,983.21	○
②水島ガソリン使用量(L)	1,320.00	1,303.20	1,170.00	1,217.74	×
③大分ガソリン使用量(L)	2,087.90	1,768.10	1,536.40	1,401.00	○
④電力使用量(Kwh) (水島)	56,203.00	57,325.00	59,675.00	57,716.00	○

※管理体制が整っているENEOS(株)水島製油所構内に所在する当社事務所においては、廃棄物排出量は製油所として一括管理されているため、数値把握できません。

※化学物質（P R T R対象物質）は使用しておりません。

※中国電力2023年度CO<sub>2</sub>排出係数：0.529kg-CO<sub>2</sub>/kwh, 0kg-CO<sub>2</sub>/kwh(自家使用太陽光)

※ガソリン排出係数：2.32kg-CO<sub>2</sub>/L



・2023年度の環境目標

2023年度は2022年度の実績から1%減で目標設定しています。

項目	実績値		前年度比	目標値 CO <sub>2</sub> 1%減
	22年度	23年度	21年度と22年度の比較	24年度
①CO <sub>2</sub> 排出量(Kg) (全社)	36,177.33	34,983.21	△ 1,194.12	34,633.38
②水島ガソリン使用量(L)	1,170.00	1,217.74	47.74	1,205.56
③大分ガソリン使用量(L)	1,536.40	1,401.00	△ 135.40	1,386.99
④電力使用量(kwh) (水島)	59,675.00	57,716.00	△ 1,959.00	57,138.84

## 4. 2023年度 環境活動計画とその結果

環境活動計画	具体的な目標(23年度)	結果
①事故ゼロ・業務トラブルゼロの継続	・事故ゼロ・業務トラブルゼロを目指す	・業務上の事故やトラブルの発生はなく目標を達成した。
②CO2排出量の削減	・本年度(23年度)の数値目標を、22年度比で、マイナス1%とする ・節電の徹底 ・ガソリン使用量の削減	・本年度は電気使用量が減少し数値目標が達成できた。 前年度比 約3.3%減少 ・エアコン設定温度の徹底。リモート会議や電子申請を推進した。 ・水島は前年より増加。但し、大分を含めると前年比97%となる。
③5Sの推進	・整理・整頓の徹底  ・緑化	・書類の紙保管を取りやめて、電子保管へ移行している。 ・不要物を撤去し、空いたスペースを有効活用 (レイアウト変更) ・敷地内の除草作業や緑化を推進している。
④ゴミの削減	・ごみリサイクル分別の徹底 ・コピー用紙の裏紙使用	・棧橋でのゴミの分別、事務所でのごみの分別徹底は出来ている。 ・前年比 △9.7%減 (優先的に裏紙等を使用し無駄紙を省いた) ・前年 (22年 358,075 枚 ⇒ 23年 323,363 枚)
⑤緑化推進	・建屋廻りの緑化維持。 ・緑化活動  ・緑の募金活動	・4月&10月 建屋周り、花壇の除草作業。 ・2月 製油所内に自生していた百合を花壇に移植した。  ・6月実施。 春季寄付額：6,213円

### 緑化の推進



ゴミ箱を設置し美化に努める

⑥勉強会	・環境に関する知識を身につける	・毎月環境に関するスピーチを実施した。(年間10回実施)
------	-----------------	------------------------------

### 環境スピーチ

#### 騒音に係る環境基準(日本)

環境基本法(環境基準は、地域の類型及び時間の区分ごとに次表の基準値の欄に掲げるとおりとし、各類型を当てはめる地域は、都道府県知事が指定している。)

地域の区分	基準値	
	昼間	夜間
地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域	60db以下	55db以下
地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域及び地域のうち車線を有する道路に面する地域	65db以下	60db以下
幹線交通を担う道路に近接する空間	70db以下	65db以下

騒音・振動の防止/環境政策課/倉敷市 (city.kurashiki.okayama.jp)

#### ②工場から出る排水や排出ガスをきれいに

※空気を汚すような材料はなるべく使わず安全なものを使ったり、排水をキレイにする装置を使用。

・省エネで動く機械を使用…部品を運ぶときは電気自動車を使用しCO<sub>2</sub>を減らす。

・工場から出る排水や排ガスをきれいにする装置を使用…排水をきれいにしたためた水槽で鯉も泳ぐ



## 5. 代表者による評価

	環境管理責任者のコメント
① 環境目標の達成状況	コロナウイルス対策の室内換気が緩和されたことにより、エアコンの稼働効率が上がり、電力使用量が減少した。(前年度比、3.4%減) ガソリンの使用率は大分は減少したが、水島は横ばいとなった。
② 取組状況の評価結果	紙から電子媒体に移行し、紙の使用量は減少している。(前年度比 9.7%減)  地域での環境普及活動は、水島港の清掃活動およびエネオスの森に参加した。
③ 環境関連法規制等の遵守状況	問題無し。
④ 外部からの苦情等	無し。
⑤ 今後	2023年度から働き方改革による労働時間の削減が始まり、2024年度は電気使用量もさらに減少すると予想される。 今後は、労働時間の削減だけでなく業務面の生産性を向上させ、CO2排出量の抑制につなげて行きたい。

### 代表者による指示事項および総合評価

本年度は、労災ゼロ、業務トラブルゼロを達成し、本船に対する余分な停泊や時間延長等を発生させることは無かった。これにより余分な燃料を消費することもなく、CO2排出量の削減に大きく貢献した。

個別の環境目標では、水島ガソリン使用量が前年より増加しているが、2020年度、2021年度を下回っており、ほぼ限界値に近づいていると考えられる。目標から外し管理項目に移管することを検討すべきである。

来年度も引き続き、環境負荷の軽減に関する活動は継続するので、地道で確実な活動を目指していきましょう。